

みんなで学ぼう！森林の生物多様性
～シンポジウム&森林見学ツアー～

猿払イトウ保全協議会 の取り組み

2011年9月16日

1

猿払イトウ保全協議会

北海道猿払地区に生息する
イトウの保全を推進



写真:多くのイトウが生息する猿払川

2

猿払村について

日本最北の村

東西28.6km 南北34.4km

面積 590km²

人口 2800人(2011年9月)

農業・漁業を中心とした1次産業が
主産業 (牛乳・ホタテ)

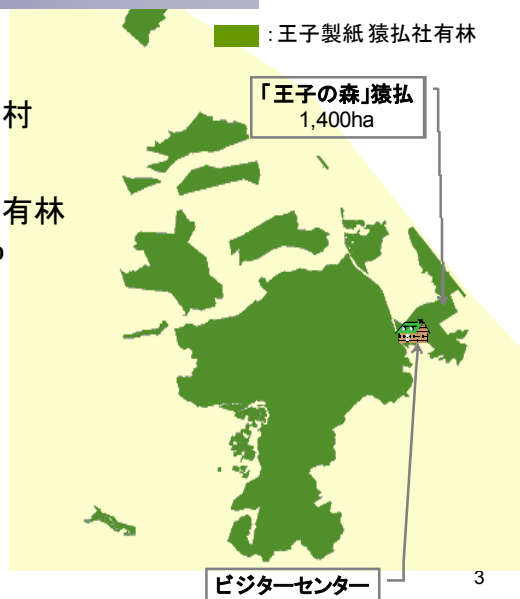


3

王子製紙 猿払社有林について

●所在地 北海道宗谷郡猿払村

●面積 17,290ha
王子製紙最大の社有林
猿払村面積の30%
天然林は約90%



3

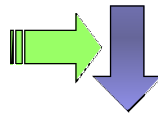
猿払イトウ保全協議会__設立経緯

猿払川はイトウの重要な生育拠点
イトウの生育区域の多くは、王子製紙が所有



猿払社有林内に環境保全区を設定(王子製紙)

イトウの保全には、
ステークホルダーと
の協働が必要



猿払イトウ保全協議会の設立

5

猿払イトウ保全協議会__事業内容

1. 王子製紙の猿払社有林周辺の森林所有者、行政(猿払村等)、NPO等との連携によるイトウの保全
2. 王子製紙の猿払社有林のイトウに関する研究者へのフィールドの提供
3. 教育活動
4. 広報活動
5. 関係機関や諸団体との情報交換や交流活動

6

イトウとは_1

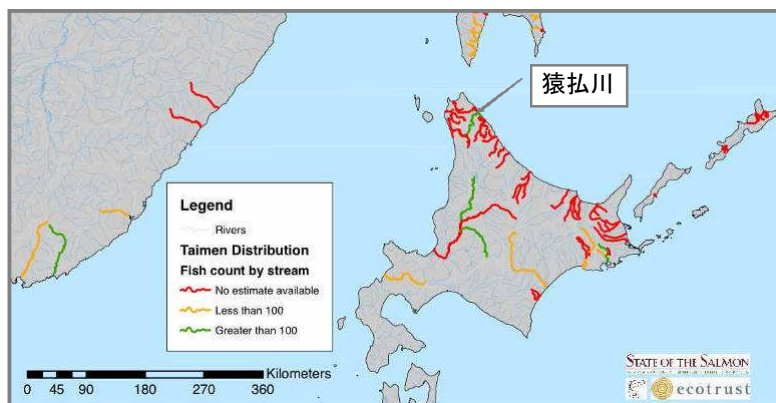
- 学名 *Hucho perryi* (サケ科サケ目イトウ属)
- 特徴 日本最大の淡水魚(世界でも最大級のサケ)、
体長1m~1.5m(記録上最大のものは2.1m)
体重25~45kg
最長寿命は20年以上(世界でもっとも長命のサケ)
現生のサケの古い祖先と考えられている。



7

イトウとは_2

- 分布 かつては青森県・岩手県にも生息していたが絶滅
現在は北海道の11水系のみに生息
日本以外では樺太・南千島・沿海州に分布



[図版: Wild Salmon Center 資料より]

8

イトウとは_3

- 生活史 降海性(降海しない個体群もある)
生活史のある時期に汽水域から沿岸域まで分布を広げる。
多回産卵を行ない、産卵期は春期(3月末～5月)
稚魚は、産卵床から7～8月に浮上し、水生昆虫などを摂餌
その後、1～2年間を上流域で過ごすと考えられる。
体長30cmを超えるころから、魚類、両生類、時にはネズミなどを捕食。
生息場所も下流域へ移行。
生活史にはいまだ謎が多い。
- レッドリストカテゴリー
Critically Endangered (CR) : IUCN Red List 2006
絶滅危惧IB類 (EN) : 環境省レッドデータブック1999
絶滅危機種 : 北海道レッドデータブック2001



9

なぜ猿払川にイトウが残ったか

1. 流域の多くが森に覆われている
2. ダムなどの河川工作物がない(少ない)
=河川の分断少ない
3. 蛇行が残されている(特に上流の産卵河川)
4. 世界的分布の中心であるサハリンに地理的に近い



猿払川では、過去20年間近く、
個体数がほとんど減少していない

10

王子製紙 環境保全区

環境保全区により、
主要な生態学的機能を維持

環境保全区では原則として、
伐採を行なわない

猿払社有林 17,290 ha (100.0%)

環境保全区計 2,660 ha (15.4%)

氾濫原 1,805 ha (10.4%)	河畔林 855 ha (4.9%)
-------------------------	----------------------

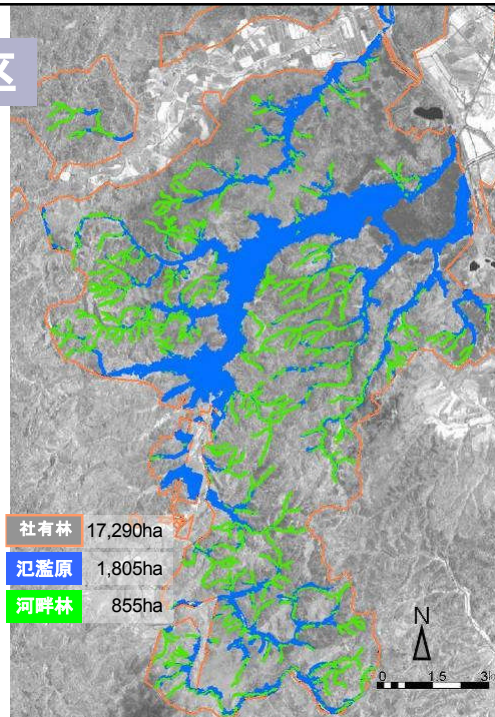
* 河川および増水(氾濫)時に冠水する河川周囲の平らな土地・湿地

* 稚魚の重要な成育の場

* 川岸から30m(最大樹高に相当)幅を環境保全区に設定

* 河川勾配を定めず設定

* 河畔林は、イトウの良好な生育環境を形成



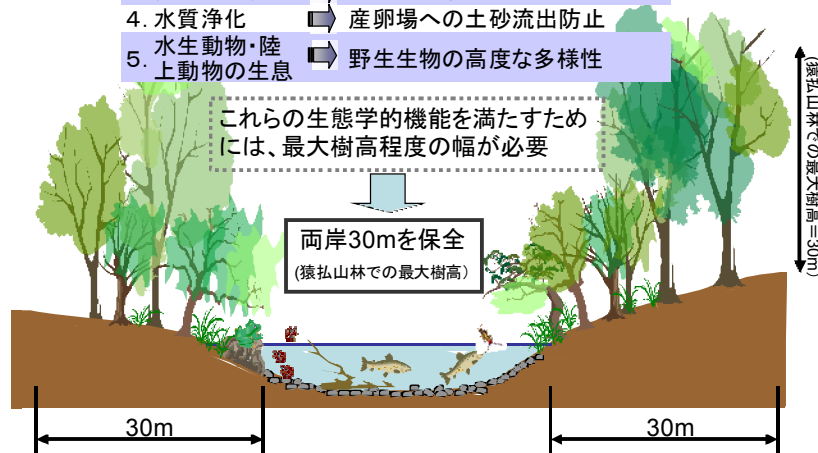
河畔林の保全

■ 河畔林の役割

1. 日射遮断 → 木陰を作り水温上昇を抑制
水生生物の餌となる落葉の供給
2. 有機物供給 → 魚の餌となる陸生昆虫の落下
3. 倒流木供給 → 淵や隠れ場所を形成
4. 水質浄化 → 産卵場への土砂流出防止
5. 水生動物・陸上動物の生息 → 野生生物の高度な多様性

これらの生態学的機能を満たすためには、最大樹高程度の幅が必要

両岸30mを保全
(猿払山林での最大樹高)



イトウの遡上



撮影：岸 恒憲氏

秋の釣り マナーをたいせつに



14

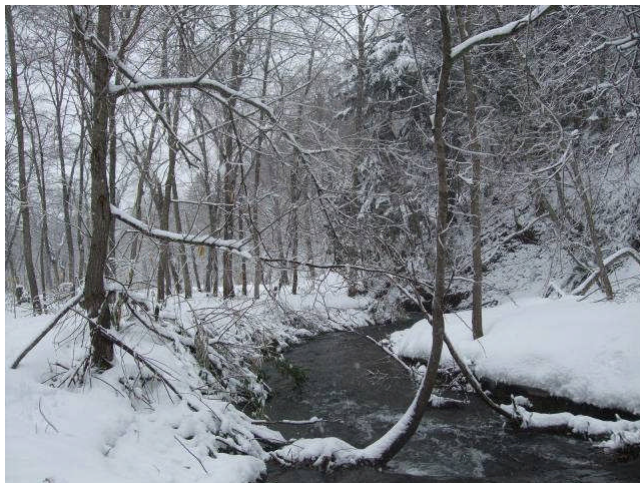
産卵遡上



撮影: 山本 牧氏

15

イトウの棲む川



「永遠にイトウの釣れる川を残そう」 猿払イトウの会

16